

広島大学第 63 回大学祭参加企画

「ビオトープで遊ぼう」～水生生物の観察～ 実施報告

フィールド科学系部門 生物科学班

塩路 恒生

1. 実施日時:平成 26 年 11 月 2 日
9:00～17:30
2. 実施場所:ふれあいビオトープ
(旧工学部ビオトープ)
3. 主催:技術センター
4. 企画実行委員

川北龍司, 清水 高, 坂下英樹, 森岡常雄, 野口靖祐, 宇都武司, 山口信雄, 岩崎貞治, 塩路恒生

5. 実施内容

第 63 回広島大学祭において, 小学生・幼稚園児を対象とした地域社会の親子に自然豊かなキャンパスの情報公開と水生生物・海洋生物とのふれあいの場を提供することを目的に参加した.

<企画事項>

- 1) 虫取り網によるメダカ, 水生生物の捕獲と観察
- 2) メダカのプレゼント
- 3) ビオトープの生き物の展示と観察
- 4) 海の生き物の展示と観察, 珍魚すくい, 投げ網
- 5) 水調べ体験, ザリガニ釣り体験
- 6) お絵かきコーナーの提供

事前の業務として, 各担当において, 適宜準備を行った. また 10 月 30 日に実行委員にて会場準備を行った. 当日は, 各コーナーで生き物とのふれあい企画を実施した. 珍魚すくいと新企画の投げ網体験は, 特に好評であった. 生き物展示では参加者の熱心な様子が伺えた. 今回も, いきもの会サークルより 8 名の学生の協力があり, 技術センター職員と学生が協力しながら, 受付係, 体験係, 観察係, プレゼント係, ビオトープ係の業務を分担した.

◎ 来場者:155 組, 469 名

(大人 271 名, 小学生 101 名, 幼稚園・保育所 75 名, その他 22 名)



6. まとめ

天候にも恵まれ, 多数の参加者が来場された. 今年で 9 回目となるが, 参加者数は, これまでの最高となった. この企画も学生との連携により, 大学祭の主要な企画の一つになりつつあると思う. 年々内容も充実してきており, 参加者からの評価も良くなってきている. アンケートでは, 親子の触れ合い, 生き物体験の大切さ, 環境問題に対してなど多くの意見が寄せられた. 技術センター主催のビオトープ企画は, 単なる大学祭の企画というだけでなく, 自然体験, 環境問題に対する意識向上につながる貴重な場となっているように感じられる.